アジア太平洋都市サミット　ニューズレター

No. 42　　2018 年 6 月号

目次

Ⅰ　SDGs ビジネスセミナーを開催しました・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
Ⅱ　国連ハビタット福岡本部だより（連載 17）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
Ⅲ　【GLOBAL ACTION 2018】　広報コピーを作成しました・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
Ⅳ　グローバルＭＩＣＥ都市・福岡・・ 4

Ⅰ　SDGs ビジネスセミナーを開催しました

第 12 回アジア太平洋都市サミット開催に先立ち，プレイベントとして福岡市主催「SDGs ビジネスセミナー」を平成30年4月19日（木）に開催しました。地元福岡の企業を中心に150名ほどが集まり，地元テレビ局も取材に訪れるなど，大盛況となりました。

会議では，さまざまなステークホルダーが講演を行いました。

貞刈副市長による開会のご挨拶のあと，ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントは「SDGs と ESG 投資」について投資家目線での取り組みを紹介。

日立製作所は「SDGs の達成・Society5.0 の実現に貢献する日立の取り組み」として，地域包括ケアやコペンハーゲンメトロにおけるダイヤ自動制御の事例を紹介しました。

東京海上日動火災保険は「東京海上グループの SDGs への取り組み」において，気候変動等がもたらす保険リスクを説明。

さらに，味の素は「ASV　味の素グループの事業による社会課題の解決」として，食を通じた栄養改善への貢献における，ベトナムでの栄養関連制度創設プロジェクトや，ガーナでの栄養サプリメントによる子供の栄養改善プロジェクトを紹介しました。

最後に，グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンは「SDGs への取組とグローバル・コンパクト」において，バリューチェーンの中での倫理的な行動や社会的責任について述べました。

今後，福岡市の企業における SDGs への取り組みの盛り上がりが期待されます。

Ⅱ　国連ハビタット福岡本部だより（連載 17）

1　国連ハビタットの最近の活動

●　ケニア・カロベイエイプロジェクト

国連ハビタットが日本政府支援で実施しているケニア・カロベイエイプロジェクトからの近況報告です。2018 年 2 月に国連ハビタットは株式会社 LIXIL と契約を結び，持続可能な衛生ソリューション「グリーントイレシステム」の提供を受けることとなりました。株式会社 LIXIL によって，トレーニングも実施され，地域住民及び，難民の方々が一週間の職業訓練を受けました。また，システムの設置を通じて，難民居住区において人々が生活する場所に衛生的かつ安全なトイレを整備するとともに，排泄物から再資源化された肥料を作物の栽培に利用することで，難民および地域住民の経済的自立や持続可能な生活基盤の構築を支援します。

トイレを設置する現地雇用職員

現地雇用職員とともに

●　エチオピア・バヒルダル市におけるごみ埋め立て技術「福岡方式」による廃棄物改善事業

山羊の放牧やロバの荷車など，のどかな田園風景が残るバヒルダルですが，市長が「ゴミは市の最優先事項」と断言するほど急速な都市化と観光開発によるゴミの増加や適切な処理に苦慮しています。実際，2年前に現場を視察した際と比較してもゴミ量は増加し，いたるところで引火し煙が噴出しています。ダンプサイトにはし尿も投棄されており課題はさらに複雑です。

今後約１年半をかけ，既存のダンプサイトの改善と，並列して新規の埋め立て処分場，水処理施設等を建設していきます。

のどかな田園風景のバヒルダル市

煙が立ち上るゴミ山

● **ネパールセミナー（電気ビル共創館，福岡市中央区）での活動内容紹介**

本セミナーには東京にある在日ネパール大使館からプラティヴァ・ラナ特命全権大使が参加され，これが大使にとって初来福となりました。ネパールの方々が日常的に使用する劣悪な水質劣悪の池を，国連ハビタットの「いのちの水」事業を通じた地元九州の皆様の技術支援などにより大きく改善していることをお伝えしました。

福岡県にはネパールから 5,500 人もの方々が留学などの目的で来ており，この数字は全国第3位となっています。本セミナーは 70 名が参加予定となっていましたが，当日はそれを大きく上回る 120 名の参加があり，ネパールへの関心の高まりが感じられました。

講演をする星野本部長補佐官

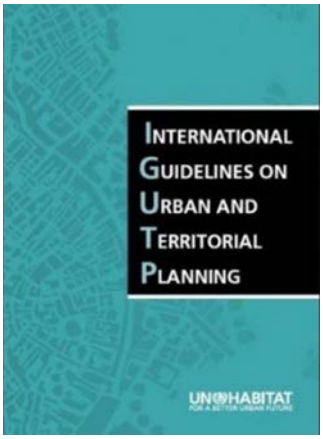
みんなが使用する調整池。バイオ製剤「アクアリフト」投入前は苔が浮いていたり，悪臭がしたりしてとても衛生的とは言えませんでしたが，これを使用するしかない状況でした。

バイオ製剤「アクアリフト」により，水質は格段に改善しています。きれいな水を守り，ここを住民の憩いの場とするために，地元住民によって壁も作り替えられました。なお，「アクアリフト」は本社を福岡市にもつ会社が製造しています。

2 アジア太平洋都市サミットにおけるハビタットセッション

1994 年から開催されているアジア太平洋都市サミット。福岡市での開催は実に 16 年ぶりとなり，国連ハビタットと福岡市の共催となります。今年は8月1日から3日まで開催され，8月2日午前には国連ハビタット福岡本部の取組みや事業を紹介する「ハビタットセッション」を行います。

本セッションでは，2015 年に国連ハビタットが発行した「都市と国土計画に係る国際ガイドライン」の中で紹介されている26都市のうち，5都市が発表を予定しています。世界中で都市化が進み，気候変動による災害リスクも増大しているため，国連ハビタットは引き続き持続可能な未来の実現に取り組んでいきます。



インターネットから
ダウンロードできます。

Ⅲ　【GLOBAL ACTION 2018】　広報コピーを作成しました

福岡市では，2018 年 7 月 30 日から 8 月 3 日までの間に，「まちづくり」に関する 3 つの国際会議が開催されます。

- 都市と国土計画に係る国際シンポジウム（国連ハビタット）
- 国土・地域計画策定・推進支援プラットフォーム会合（国土交通省）
- 第 12 回アジア太平洋都市サミット（福岡市，国連ハビタット福岡本部）

今回，これら 3 つの会議を通じて，「持続可能なまちづくりに向けた世界的な取組み（Global Action）」を福岡市から積極的に発信することを国内外に広く広報するため，3者共通の広報コピーを作成しました。

GLOBAL ACTION 2018
FUKUOKA JAPAN
SUSTAINABLE URBANIZATION WEEK
UN HABITAT FOR A BETTER URBAN FUTURE　MLIT Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism　Asian-Pacific City Summit

ACTION の「O」には SDGs カラーホイールを配置し，この取組みが SDGs の達成に向けたものであることが一目でわかるようにしています。

また，3 つの会議が1週間で行われることから，この1週間を「SUSTAINABLE URBANIZATION WEEK（持続可能なまちづくり週間）」と表現し，各会議の主催者ロゴと併せて配置しています。

今後は，このコピーを使用し，福岡市の SDGs に向けた取組みを積極的に国内外にアピールしていきます。

Ⅳ　グローバルＭＩＣＥ都市・福岡

福岡市は，東京都や京都市と並んで日本国観光庁から「グローバルMICE都市」に選定されており，大型MICEの誘致に力を入れています。

観光局（JNTO）の最新統計によると，2016 年に福岡市で開催された大型MICEは，海外から 1.2 万人の参加者を集めた「第 99 回ライオンズクラブ国際大会」をはじめとした 383 件で，この開催数は日本国内では東京都に次いで多く，8 年連続で国内 2 位となっています。今後も，2019 年には「20 か国財務大臣・中央銀行総裁会議」や「ラグビーワールドカップ」，2021 年には「世界水泳選手権」といった世界規模の大型MICEの開催が予定されており，福岡市は日本を代表するMICE都市となっています。

今年 8 月に開催する「第 12 回アジア太平洋都市サミット」においても，参加者にとって実りの多い会議を提供するのはもちろんのこと，会議外の場面においても福岡らしい趣向を凝らして参加者の皆さんをおもてなしいたします。

グローバルMICE都市・福岡での滞在を，どうぞお楽しみください。

★会員都市の担当者の皆様 ： 寄稿をお待ちしています。

貴市のトピックスや新規事業，都市問題の解決のヒントとなるような貴市における課題解決の取組みなど，お気軽に情報をお寄せください。

（ニューズレターは，アジア太平洋都市サミットのウェブサイトに掲載し，会員都市などへ email 送信しております。）

今後のアジア太平洋都市サミットの会議予定

開催時期	会議名	開催都市
平成 30 年 8 月1日～2日 ※3 日は視察	第 12 回アジア太平洋都市サミット	福岡市（日本）

アジア太平洋都市サミット ： Asian-Pacific City Summit は，アジア太平洋地域の都市問題の解決に向け，市長会議や実務者による会議等を通じて，都市の連携やネットワークの構築を図っています。

アジア太平洋都市サミット会員都市　13 ヵ国 30 都市

オークランド市（ニュージーランド）
バンコク都（タイ王国）
ブリスベン市（オーストラリア連邦）
釜山広域市（大韓民国）
長沙市（中華人民共和国）
大連市（中華人民共和国）
福岡市（日本国）
広州市（中華人民共和国）
光陽市（大韓民国）
ホーチミン市（ベトナム社会主義共和国）
香港特別行政区（中華人民共和国）
ホノルル市（アメリカ合衆国）
イポー市（マレーシア）
ジャカルタ特別市（インドネシア共和国）
済州特別自治道（大韓民国）
鹿児島市（日本国）
北九州市（日本国）
クアラルンプール市（マレーシア）
熊本市（日本国）
マニラ市（フィリピン共和国）
宮崎市（日本国）
長崎市（日本国）
那覇市（日本国）
大分市（日本国）
浦項市（大韓民国）
佐賀市（日本国）
上海市（中華人民共和国）
シンガポール（シンガポール共和国）
ウルムチ市（中華人民共和国）
ウラジオストク市（ロシア連邦）

【編集・発行】 2018 年 6 月1日　アジア太平洋都市サミット事務局（福岡市総務企画局国際部）
〒810-8620　福岡市中央区天神 1-8-1　TEL: 092-711-4028　FAX:092-733-5597
E-mail: apcs@city.fukuoka.lg.jp　Website: http://apcs.city.fukuoka.lg.jp/2018/ja/